



令和6年2月1日

目黒区立祐天寺保育園園長

2月園だより

寒波の到来もあり、冬本番の1月でした。そんな冷たい風を物ともせず、園庭からは元気な声が連日響いています。寒さの中でも身体を動かし、しっかりと体温を上げることは、自律神経の育ちに繋がるそうです。子どもたちがまた一回り遅しくなりますね。

さて先日、4歳児クラスと5歳児クラス主催の“お店屋さんごっこ”がありました。日頃遊んでいるごっこ遊びを少し大がかりにして園全体で楽しみました。ホールにはホテルができ、入り口で名前を聞かれると、フロント係の子が予約を確認するかのように、空き箱で作ったパソコンをブラインドタッチし「あります」と、厚紙のカードキーをくれます。ホテルには紙の岩で囲まれた温泉、毛糸のパスタや紙コップのプリンが食べられるレストラン、マットに布が敷かれた寝室が並びました。小さなクラスの子どもたちも次々にお客さんになってやって来ては、楽しそうに満喫していました。廊下ではみかん箱を連結した電車に乗ることができますが、一つ一つのみかん箱は底が開いていて、お客さんもトコトコと歩くシステムです。0歳児クラスの数人がお客さんの時は、運転手さんがゆっくりゆっくり進んでくれました。さぞ楽しかったのでしょうか、終点に着くとお客さんの一人が人差し指をたて「もう一回」の合図をしました。「じゃあいいよ」と優しい運転手さんが折り返し運転をしてくれると満足気に降りて行きました。



ごっこ遊びは、虚構の世界を楽しむ遊びですが、その中で憧れの大人を演じ立派に役割を果たす4歳児と5歳児の姿があります。遊びの中で子どもたちの成長意欲がたくさん刺激される、そんな時間となりました。

行事予定

節分

ポニー教室（4，5歳児クラス）

春のお楽しみ会（乳児）

身体計測・避難訓練

クラス懇談会のお知らせ

・場所 ホール

2歳児 ひまわり組

1歳児 たんぽぽ組

0歳児 ちゅうりっぷ組

伝承遊び ～昔からの遊びを楽しむ～

保育園では羽根つき、コマ回し、タコ揚げ、すごろく、カルタなど伝承遊びを楽しんでいます。先日は庭に出ると「これやりたい」と羽子板と羽を持って羽根つきが始まりました。5歳児は経験もあるので、友達と誘ってあそび始め「1・2・3…」とラリーが続き、「新記録が出たよ」と喜びながら楽しんでいました。その隣で4歳児もやってみますが、羽子板を振っても羽に当たらず、「難しいよ」とつぶやきながらやっていると5歳児が「こう持ってこうやってやるの」とお手本を見せてくれ、「コンコン」とリズムカルな音が響いていました。自分たちがやっている時は、そんな音も聞こえてこないもので、どうやったらできるのだろうか真剣な眼差しで見えています。そして、見よう見真似で何回もやってみると、小さく「コン」と羽が羽子板に当たった音がしました。音を聞いた4歳児の子どもたちはジャンプをしながら喜びを表し、「いい音したね」と満足そうにしています。楽しい経験ができた子が他の子を誘い、楽しい時間が続いていました。保育士も小さい頃に楽しんで遊んだ思い出もあり、「先生もできるよ」と子どもたちと一緒に昔からある遊びを楽しみました。大人から子ども、異年齢の中でもこうやって伝承しています。

0、1、2歳児クラスのじゃれつき遊びの様子です。

じゃれつき遊びとは、体を触れ合わせながらじゃれ合い、思いっきり興奮して楽しむ遊びです。子どもたちが喜ぶ遊びなら何でも良いのです。



0歳・ちゅうりっぷぐみ

「触れ合うことが嬉しい」

マットの上に子どもが寝転び、保育士が布団をぐるぐる回したり引っぱり張ったりする遊びを始めると、「わたしも」「ぼくも」と言うようにマットの上にゴロンと横になっています。保育士が子どもの顔を見ながら「せーの」と声を掛けると「楽しいことが始まるぞ」と期待する表情になり、マットを動かすと大きな声をあげて大喜びです。最近では、自分で一回転してから保育士の顔を見て「せんせ、(やっ)て」とやってほしいことを伝えてくれます。また、高い高いや抱っこして回転するもの好きで、抱っこされるとぐるぐるされることが分かっているのでぎゅっと保育士の腕に掴まって、落ちないようにバランスを取り、少しスリルを味わいながらも、保育士と一緒に大笑いすることを楽しんでいる子どもたちです。

1歳・たんぼぼぐみ

「何回捕まっても楽しい追いかけてっこ」

庭に出てすぐに「せんせい、おいかけて」と言ったり、保育士の背中をトントンとして、保育士と目が合うと走り出しりだしたりと、追いかけてもらいたいことを伝えてきます。その誘いに応じて「食べちゃうぞ、まてまて」と追いかけると「きゃー」と興奮して逃げます。時々振り向いては、保育士を確認して楽しんでいます。捕まるとくすぐられたり、抱っこされて前後に大きく揺らされたり、嬉しいことをしてくれるのを分かっているので、わざと掴まる子もいます。捕まった後も、「もっかい」とリクエストして、また走って逃げることを繰り返しています。毎日、園庭・テラスなどで「まてまて」と体をたくさん動かして楽しんでいます。



2歳・ひまわりぐみ

「がらがらどんのイメージで」

ホールでは、毎日のように保育士がおばけや鬼などになって、子どもたちと体をくっつけてスキンシップを取る遊びを楽しんでいます。ある日、保育士が「だれだー、俺の橋をガタピシさせるのは〜」と“3匹のヤギのがらがらどん”のフレーズを言ってみると、子どもが「トロールがいるよ」と絵本の世界を想像し、そっと友達に知らせています。「グリグリ目玉は皿のよう〜」とさらにフレーズを言う

「トロールに食べられちゃう」と一人の子が走り出しました。「お前をひとのみにしてしまうぞー」と保育士も大きな足音を立てながら走り出すと、ほかの子も目を丸くしドキドキした表情で走り出し、がらがらどんのじゃれつき遊びが始まります。「きゃー、食べられちゃう」と笑顔になり、夢中で逃げています。別の保育士におんぶされて逃げている子、つかまって全身をくすぐられて笑う子、「おれだー、おおきいやぎのがらがらどんだー」とトロールに挑み、しがみつくと抱きつく子など、がらがらどんの世界を楽しんでいます。子どもも保育士も大笑いしながら体を動かし、寒い冬でも心も体もホカホカにほぐれる時間になっています。

